

令和2年度春季滋賀県連合子牛共進会・せり市結果

令和3年3月12日、高島市今津町にある高島総合家畜市場で令和2年度春季滋賀県連合子牛共進会・せり市が開催されました。出品頭数は、雌13頭、去勢18頭の合計31頭でした。



出品牛

午前中に開催された共進会において、最優秀賞に日野町、滋賀県畜産技術振興センター出品の「湖国2の29」が選ばれました。本牛は300日齢、体重330kg、体高121.6cm、胸囲159.0cmと大変発育良好で、体躯の幅・伸びとも充実しており、資質も大変優れた素晴らしい子牛でした。

午後からは表彰式の後、せりが行われました。相場が低迷し回復しない中、雌は最高678,000円・最低410,000円・平均価格513,923円、去勢は最高812,000円・最低118,000円・平均619,000円でした。

前回の市場（令和2年11月13日開催）と比較すると、雌および去勢の平均価格は



表彰式

雌ではほぼ横這い、去勢で約4万円高くなっています。また令和2年春季の市場と比較すると、雌で約13万円、去勢で約12万円高くなっています。一方で、コロナ禍前に開催された平成31年春季市場と比較すると、雌・去勢ともに約9万円低くなっており、依然としてコロナ禍前の価格への回復の兆しはみられていません。

新型コロナウイルス感染者数の再三に渡る増加（第4波）、3度目の緊急事態宣言、訪日客数の減少、また輸入飼料価格の高騰など、引き続き肉牛農家にとって厳しい状況が続くと予想されますが、頑張っ乗り越えましょう。（中山）